

調査研究に関する研究計画書

提出年月日		令和3年6月29日	部 名	微生物部	
調査研究課題		宮崎県の重症熱性血小板減少症候群(SFTS)ウイルスに関する遺伝学的解析			
調 査	主任研究者	成田 翼		研究区分 (小分類)	
	その他の研究者	三好めぐみ、水流奈己、三浦美穂、吉野修司、杉本貴之			
研 究 体 制	調査研究期間	令和3年度 ~ 令和5年度 (3か年間)			
	調査研究費	予算項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		国費	千円	千円	千円
		県費	200千円	200千円	200千円
その他	千円	千円	千円		
合計	200千円	200千円	200千円		
調査研究の目的		<p>重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は SFTS ウイルス(SFTSV)によるダニ媒介性感染症で、本県では平成 24 年 10 月に初めて患者が確認され、都道府県別では最も多い状況にある。これまで行った SFTSV の系統解析により、宮崎県の SFTSV には J1・J3 の 2 つの遺伝子型が見られる事が判明している。今年度、宮崎県で発生した J1・J3 株のアミノ酸配列について調べたところ、複数の箇所においてアミノ酸配列の違いが見られた。J1 株と J3 株の間に抗原性に違いがある可能性があるが、現在、ゲノムの解析を行っているのは S 分節の一部であることから、より詳細な解析が求められる。</p> <p>本研究では、SFTSV について、より詳細なゲノム解析を行い、J1・J3 株について詳細な解析を行う。同時に宮崎県全域からマダニを採取し、地域・植生ごとの SFTSV の保有率及びウイルスのゲノムの特徴を確認し、SFTSV の人への感染の現状確認を行う。</p> <p>また、SFTSV の検査方法について国のマニュアルが変更され、中和試験法・間接蛍光抗体法の方法が示された。これらについての検証を行う。</p>			
調 査 研 究 内 容	研究の実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SFTSV の全ゲノム解析と遺伝子の変異に関する調査</li> <li>・ マダニの SFTSV 保有調査・ゲノム調査</li> <li>・ SFTSV の中和試験法・間接蛍光抗体法の確立</li> </ul>			
	技術手法	遺伝子増幅法、シーケンス解析、全ゲノム解析、中和抗体試験法、間接蛍光抗体法			
	年次計画	<p>【令和3年度～5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SFTSV の全ゲノム解析と遺伝子の変異に関する調査</li> <li>・ マダニの SFTSV 保有調査・ゲノム調査</li> </ul> <p>【令和3年度～4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SFTSV の中和試験法・間接蛍光抗体法の確立</li> </ul>			
調査研究の効果等 (行政効果・県民ニーズへの波及効果等)		<p>SFTSV のゲノムを解析することで、本県に存在する J1・J3 株の特徴を知る手がかりを得る事ができる。また、マダニの SFTSV についても同時に調べることで、マダニによる SFTSV 感染についての詳細を知ることができ、SFTSV 感染の予防に役立つ。</p> <p>SFTSV の中和試験法・間接蛍光抗体法の手技を確立することで、精度の高い検査体制を構築できる。</p>			
備 考					